

中国にプリント回路板工場

【豊橋】プリント回路板設計・組み立ての対松堂精工（愛知県豊川市、田中寛孝社長）は、中国・蘇州市に工場を新設、今年四月に稼働する。中国に進出した日系電機メーカーなどからの受注増に対応する。同社の中国の生産拠点は深圳市に続き二カ所目。

昨年九月に現地法人、対松堂電子（蘇州）が工場を設立した。蘇州市郊外にある延べ床面積三千平方メートルの工場棟を賃借。設備導入などに約二億円を投じる。プリント配線板に電子部品を実装したプリント回路板を量産する。月産能力は十万枚。従業員は約五十人でスタートし、二〇〇四年一月までに百人に増やす。

製品は現地販売するほか日本にも輸出する。二〇〇六年には自社の工場棟を建設、月産能力を五十万枚に引き上げる。